

平成18年度一般会計 当初予算審査特別委員会報告

委員長 師田 保

平成18年度当初予算9議案について、4日間の審査を行い委員会採決の結果全予算について「可決すべきもの」と決定した。委員会における主な質疑は次のとおり。

主な質疑

■総務課■

- バス補助金と小型バス対応について。
- 毎年事業者交渉し、経費の削減に努めている。小型バスについては交渉する。

■税務・収納課■

- 県からの徴収員派遣はどのようなになるのか。
- 税源移譲を受けることから、県は徴収には相当力を入れてくれると思われる。

■三俣地域振興対策室■

- 振興対策の地域での確認状況は。
- 三俣未来まちづくり協議会主催の会議が開催され、要望について早急な実施項目と長期計画の中で協議するものと分類

された資料が配布され、副会長がこれに基づいて4者協議にあたりと挨拶をした。

■福祉保健課■

（一般会計）

- 敬老会は。
- 昨年は祝い金等が多かったが、南魚沼市と歩調を合わせた中で実施する。
- 訪問介護件数及びドック受診者数は。
- 訪問件数は年間延べ7千900人、実質100人。17年度の湯沢病院でのドック受診者は528名。

（介護保険特別会計）

- 地域密着型介護サービスと特別地域密着型介護サービスとは。
- グループホーム入所者サービスのことである。特別は現在介護認定を受けていない方の呼び方。今まで入居している方は

「みなし規定」で対象となる。現時点では湯沢町にグループホームができて気配はない。

（病院事業会計）

- 留保資金の金額の目途は。
- 留保資金は2億円を目途と考える。地域医療振興協会は3か月分の支払経費相当額が留保できたら、町からの年8千万円もの助成は必要ないと考えている。

■住民課■

（一般会計）

- 保育料の値上げ及び施設の統合問題は。
- 18・19年度に5%値上げを考えていたが、子育て支援の観点から18年度は値上げを見送った。19年度については今後検討。統合は湯沢と中央の検討を続ける。

最終的には2箇所程度が良いと考えるが、今は現状どおりで行う。

- ストックヤードへの運搬は現在、週1回であるが冬期は2回程度にでき

- ないか。
- 検討する。

（国民健康保険特別会計）

- 人間ドックの状況は。
- 自己負担額は1万2千円。本年度から受診枠を70歳未満から75歳未満に拡大した。

- 国保への違法加入者対応は。
- 社会保険事務所と市町村が連絡を取り合い4月から社会保険庁が調査を行う。

（老人保健特別会計）

- 老人保健の対象者は。
- 現在は74歳までの人が加入している。来年10月からは75歳までの人が加入する。19年10月以降は加入者が増えてくる。

■産業観光課■

- 商工費、観光費の減額要因は。
- 商工費は貸付金の減、観光費は観光の町づくり補助金の廃止及び印刷・宣伝費の減。

- 埋設農薬の調査は。
- 昭和46年当時、下中子